

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和6年度(2024年度)病害虫発生予察注意報第7号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度(2024年度)病害虫発生予察注意報第7号

農作物名 果樹全般(カンキツ、ナシ、ブドウ等)
病害虫名 果樹カメムシ類(主にチャバネアオカメムシ)

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 7月下旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠

- (1) 3地点(合志市、宇城市、天草市)におけるチャバネアオカメムシの予察灯およびフェロモントラップにおける誘殺数は、天草市を除く2地点で平年より非常に多く推移している。特に、宇城市では7月に入ってから急増し、7月から8月にかけて果実への被害が多発した令和2年の誘殺数と比較して約5倍(7月1半旬~4半旬の合計)となっている(図1)。
- (2) 現在までにナシ園やカンキツ園で発生が認められており、一部で果実の被害が出始めている。
- (3) 福岡管区气象台が7月25日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高いと予想されており、今後も果樹カメムシ類の活動が活発な状態が続くと予想され、果樹への加害が懸念される。

5 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来して被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や林地沿い園地は被害を受けやすいので注意する。
- (2) チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの誘殺データを病害虫防除所のホームページ(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>)に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や適期防除の参考にする。
- (3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除



本注意報は、病害虫防除所ホームページに掲載しています。

「<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>」

が有効である。

- (4) ピレスロイド系殺虫剤は天敵への影響が大きく、多用するとハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。
- (5) 薬剤の使用に当たっては、定められた使用回数・濃度・使用量・使用時期を遵守するとともに、周辺作物への飛散（ドリフト）に注意する。

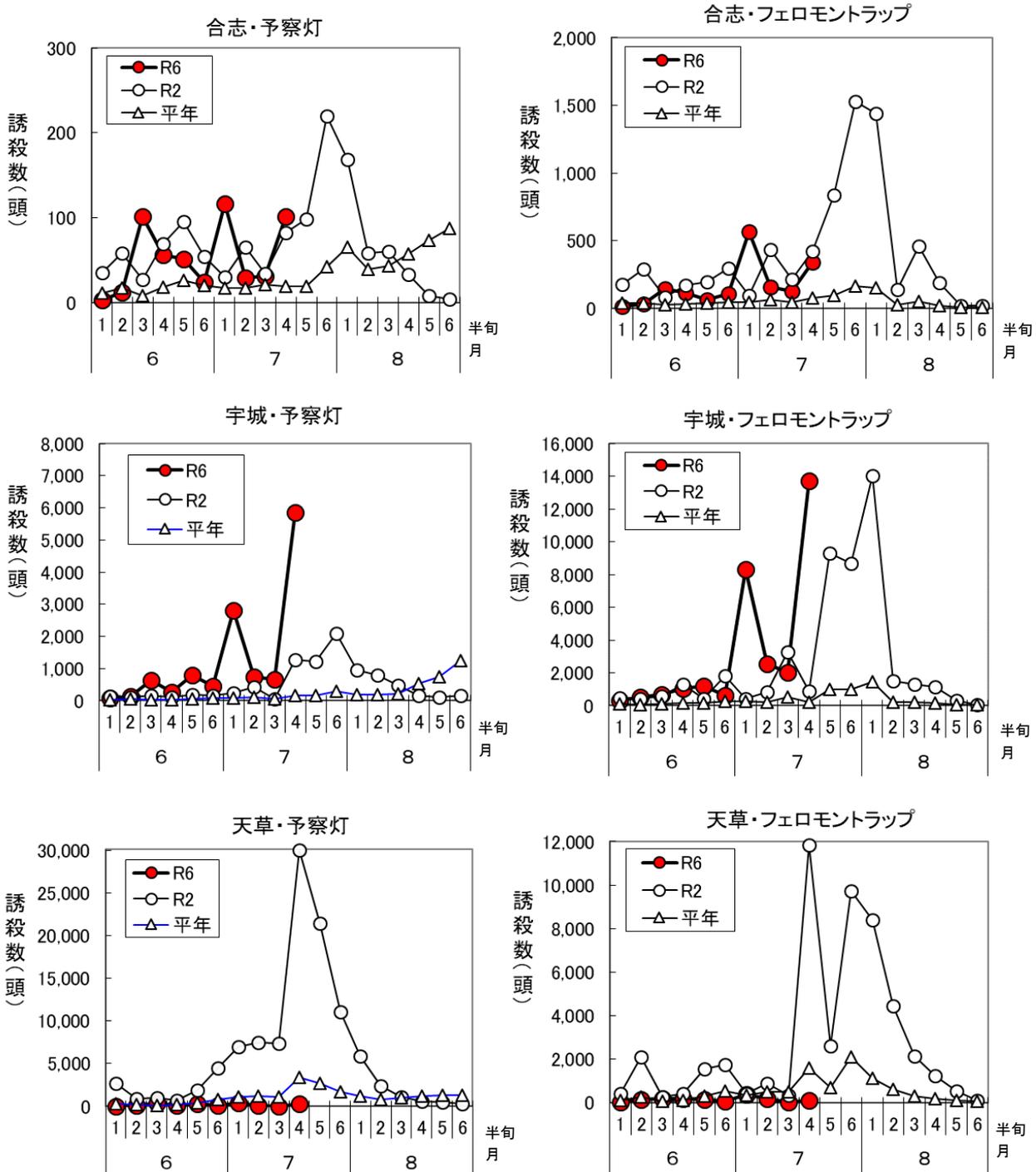


図1 予察灯及びフェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移

熊本県病害虫防除所
 (農業研究センター生産環境研究所内)
 担当：清永 TEL 096-248-6490



本注意報は、病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>